

1-A おうち料理塾15期生

第3種郵便物認可

彦根の主婦ら 亀山小に体操服寄付へ

「子らの役に」マルシェ開催



マルシェの会場となる光雲寺の本堂でチラシを持つ細江さん(右)と小西住職(左)彦根市賀田山町

彦根市の主婦らでつくるグループが、同市賀田山町の亀山小に児童用体操服を寄付するため、同小に近い光雲寺で14日にマルシェを開催する。出店料の一部を購入費に充てる計画で、グループは「子どもたちの役に立てれば」としている。

県内各地で課題発見や解決に取り組む人材を育成する「おうちみ未来塾」(淡海ネットワークセンター主催、大津市)の15期生5人でつくるグループ「ごきつとー」が開く。

同小では、卒業生に不要になった体操服の提供を呼び掛けて

14日光雲寺 出店料一部を購入費

おり、体育の授業で忘れたり、私服が汚れた児童のために活用している。だが、古くなって生地が傷んでいたりと、サイズが合わないこともあるという。

メンバーの一人で、長女が同小に通う主婦細江美和子さん(48) 同市榎町IIが体操服について知り、寄付のためのマルシェ開催をグループで計画。同小出身の同寺の小西領也住職(31)が「地元に向か恩返しをして、寺に気軽に来てもらえる機会にもなれば」と会場使用を快諾した。

当日は、主に湖東地域のカフェや雑貨店など12店・団体が、同寺本堂で、菓子やコーヒー、アクセサリーなどを販売する。同小の野上圭一校長は「とてもありがたい」と喜ぶ。細江さんは「地域住民が楽しんで、困り事を解決できるようなイベントにできれば。今後も地域に貢献できるような活動を考えたい」と話す。

午前11時〜午後3時。駐車場あり。同寺0749(28)1616。(長谷川祐太)